

平成 28 年 1 月 31 日（日）、香川県社会福祉総合センター、2 月 14 日（日）ユープラザうたづにて介護職員はじめ多職種の皆様に福祉用具研修会を開催いたしました。事業目的は、地域における医療及び介護の総合的な確保の促進のため、香川県より助成を受け行う事業で、（一社）香川県作業療法士会も担うこととなりました。

テーマは「明日から現場で使える！基礎から学ぶ福祉用具研修会」と題し、講師は専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 植野英一、四国医療専門学校 松本嘉次郎が担当し参加者は 2 会場で約 50 名と盛況に開催されました。参加者は介護職員を中心に考えていたのですが、医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士など、さまざまでした。昨今、地域での多職種連携が重要との気運が高まっており、色々な職種が連携する機会にも繋がり大変嬉しく思いました。

作業療法士が福祉用具を利用した介助方法や生活上の工夫を提案し、参加者の皆様は実際に最新の福祉用具に触れ、積極的に体験していただきました。参加者からは福祉用具を活用することで「利用者様の自立支援に繋がりますね」、また現場の「職員様の身体負担を減らすことができますね」と喜びの声も会場から聞こえました。我々、香川県作業療法士会のスタッフも、参加者の皆様と一緒に学ぶ機会をいただきました。参加者の皆様、お手伝い頂いたスタッフの皆様お疲れ様でした。

次年度以降も継続して福祉用具研修会を企画予定していますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。宜しく申し上げます。

（一社）香川県作業療法士会
地域医療介護総合確保基金 特設委員会 樋本英司